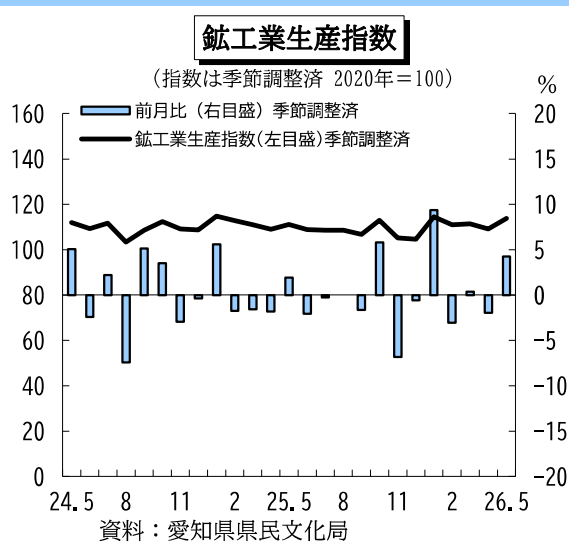


あいち経済の動き（月報）

（2026年5月分）

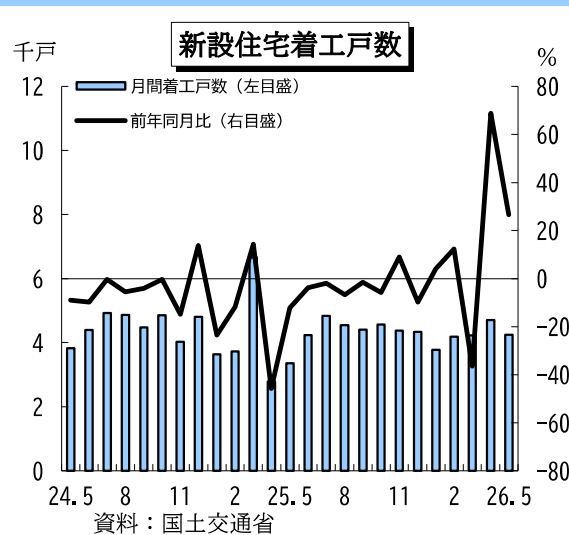
生産：鉱工業生産指数（季節調整済）は、前月比4.2%の上昇



2026年3月	4月	5月
→	→	↗

主な指標の動き
鉱工業生産指数（季節調整済）は、前月比で、輸送機械工業が14.2%上昇するなど、全体で4.2%の上昇となりました。
また、鉱工業生産指数（原指数）は、前年同月比で、輸送機械工業が1.5%低下するなど、全体では1.9%の低下となりました。

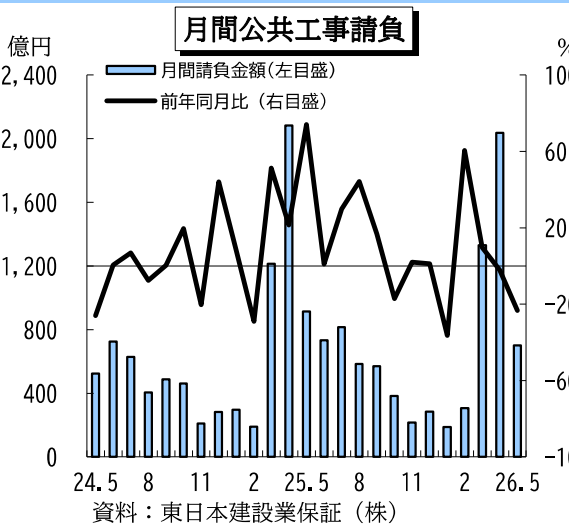
投資（住宅建設）：新設住宅の月間着工戸数は、前年同月比26.6%の増加



2026年3月	4月	5月
↘	↗	↗

主な指標の動き
新設住宅の月間着工戸数の前年同月比は、26.6%増となり、2か月連続で増加となりました。
主な内訳は、分譲住宅が78.9%、持家が24.5%増加し、貸家が5.7%減少となりました。

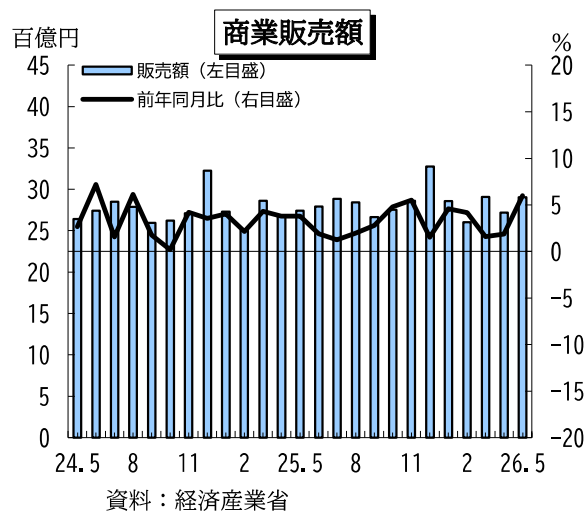
投資（公共工事）：公共工事の月間請負金額は、前年同月比23.3%の減少



2026年3月	4月	5月
↗	→	↘

主な指標の動き
公共工事の月間請負金額の前年同月比は、23.3%減となり、2か月連続で減少となりました。
月間請負件数の前年同月比は、15.1%減となり、4か月ぶりに減少となりました。
※上記の矢印の向きは月間請負金額を示すもの。

個人消費：商業販売額は、前年同月比6.0%の増加



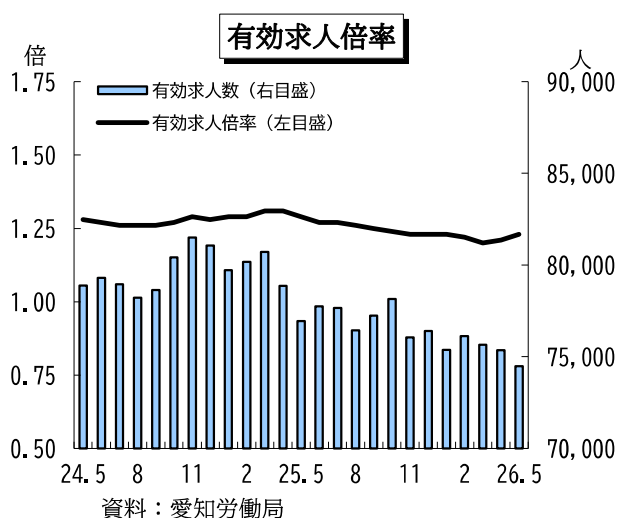
2026年3月	4月	5月
→	→	↗

主な指標の動き

スーパーなどの商業販売額の前年同月比は、6.0%増となり、57か月連続で増加となりました。

主な内訳は、家電大型専門店が34.2%、ドラッグストアが8.7%増加し、百貨店が2.6%の減少となりました。

雇用：有効求人倍率は、1.23倍



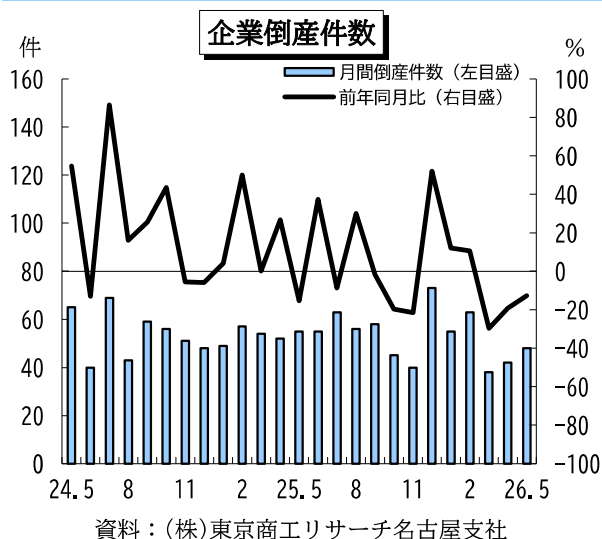
2026年3月	4月	5月
→	→	↗

主な指標の動き

有効求人倍率は、1.23倍と2か月連続で上昇となりました。

有効求人数の前年同月比は、3.2%減となり、24か月連続で減少となりました。

企業（倒産）：月間倒産件数は、前年同月比12.7%の減少



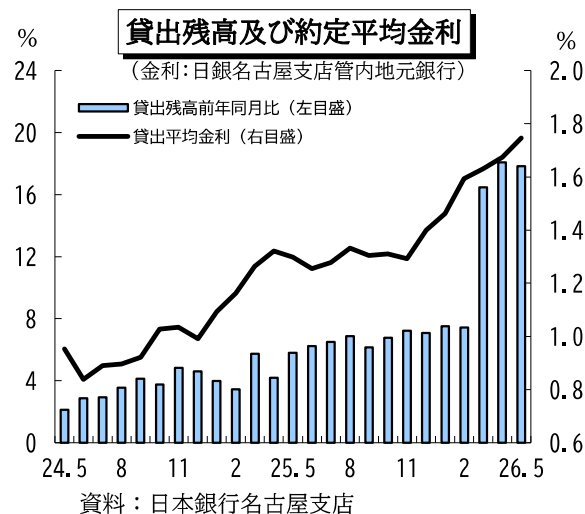
2026年3月	4月	5月
↘	↘	↘

主な指標の動き

企業の月間倒産件数は48件となりました。また、前年同月比では12.7%減となり、3か月連続で減少となりました。

業種別にみると、倒産件数の多い順に、建設業、サービス業他が各11件、製造業が9件、小売業が6件、卸売業が5件、情報通信業が3件、運輸業が2件、農・林・漁・鉱業が1件となりました。

企業（金融）：貸出残高は、前年同月比17.8%の増加



2026年3月	4月	5月
↗	↗	↗

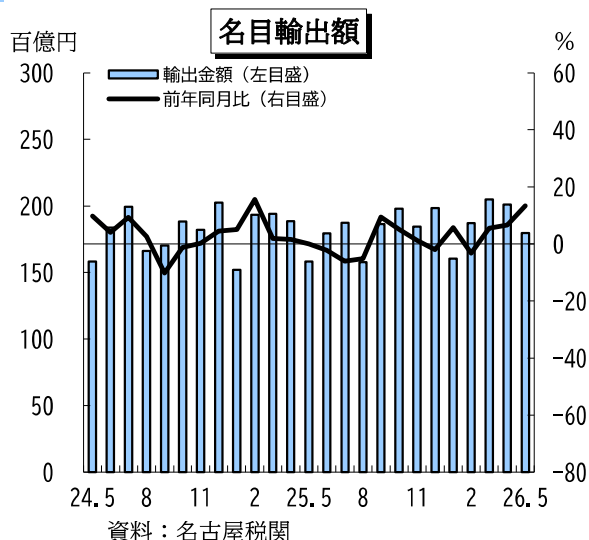
主な指標の動き

貸出残高の前年同月比は、17.8%増となり、48か月連続で増加となりました。

貸出金利は、前月から0.072ポイント上昇し、6か月連続で上昇となりました。

※上記の矢印の向きは貸出残高を示すもの。

貿易（輸出）：名目輸出額は、前年同月比13.4%の増加



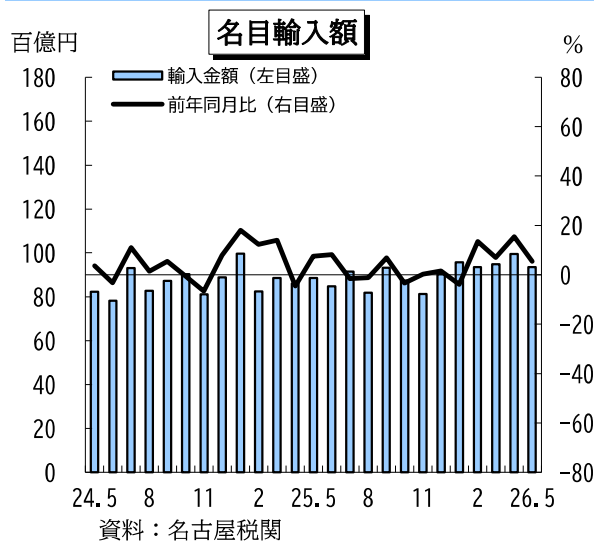
2026年3月	4月	5月
↗	↗	↗

主な指標の動き

名目輸出額の前年同月比は、13.4%増となり、3か月連続で増加となりました。

内訳を地域別にみると、アジア向けの輸出が20.8%、EU向けが17.3%、北米向けが17.1%の増加となりました。

貿易（輸入）：名目輸入額は、前年同月比5.4%の増加



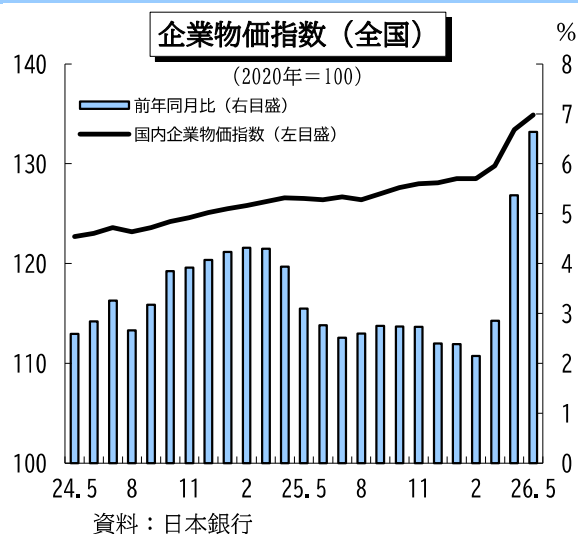
2026年3月	4月	5月
↗	↗	→

主な指標の動き

名目輸入額の前年同月比は、5.4%増となり、4か月連続で増加となりました。

内訳を地域別にみると、アジアからの輸入が23.5%、北米からは2.0%増加し、EUからは25.2%の減少となりました。

物価（企業物価）：企業物価指数は、前年同月比6.6%の上昇



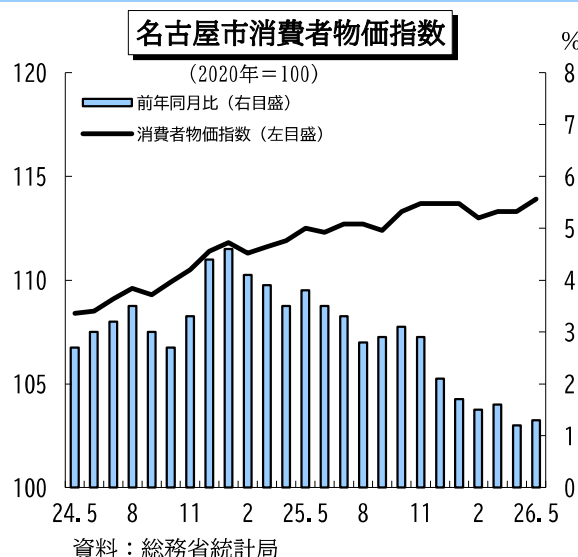
2026年3月	4月	5月
↗	↗	↗

主な指標の動き

国内品の企業物価指数（2020年＝100）は、134.9となりました。また、前年同月比は6.6%上昇し、63か月連続で上昇となりました。

前月比では1.1%の上昇となりました。

物価（消費者物価）：名古屋市消費者物価指数は、前年同月比1.3%の上昇



2026年3月	4月	5月
→	→	↗

主な指標の動き

名古屋市消費者物価指数（総合）（2020年＝100）は、113.9となりました。また、前年同月比は1.3%上昇し、55か月連続で上昇となりました。

前月比では0.6%の上昇となりました。

（注）矢印は、3か月前比を中心に変化の方向を表すため、毎月の変動とは異なる場合があります。

経済指標の矢印判定の推移

	2025年 12月	2026年 1月	2月	3月	4月	5月
生産	⇒	↗	→	→	→	↗
投資(住宅建設)	↘	↗	↗	↘	↗	↗
投資(公共工事)	⇒	↘	↗	↗	→	↘
個人消費	→	→	→	→	→	↗
雇用	→	→	→	→	→	↗
企業(倒産)	↘	↘	↘	↗	↗	↗
企業(金融)	↗	↗	↗	↗	↗	↗
貿易(輸出)	↘	↗	↘	↗	↗	↗
貿易(輸入)	⇒	↘	↗	↗	↗	→
物価(企業物価)	↗	↗	↗	↗	↗	↗
物価(消費者物価)	↗	↗	→	→	→	↗
↗	3	6	5	6	6	9
→	2	2	4	4	5	1
↘	3	3	2	1	0	1
⇒	3	0	0	0	0	0

(注) 水平矢印の黒色・白色は直近の上向き・下向き矢印に依存する。

あいち経済の動き・矢印判定基準等

		使用データ	矢印判定基準
生 産		愛知県民文化局統計課「愛知県鉱工業指数」／生産指数（鉱工業）	↑：前月比3%以上プラスかつ対3か月前比プラス ↓：前月比3%以上マイナスかつ対3か月前比マイナス →：上記以外
投 資	住宅建設	国土交通省「住宅着工統計」／新設住宅着工戸数	↑：月間着工戸数の対前年同月比3%以上プラスかつ同比の対3か月前比プラス ↓：月間着工戸数の対前年同月比マイナスかつ同比の対3か月前比マイナス →：上記以外
	公共工事	東日本建設業保証㈱「公共工事前払金保証統計」／月間請負金額	↑：対前年同月比3%以上プラスかつ同比の対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ同比の対3か月前比マイナス →：上記以外
個 人 消 費		経済産業省「商業動態統計」のうち「業態別、都道府県別、商品別販売額等」／商業販売額合計	↑：対前年同月比5%以上プラスかつ同比の対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ同比の対3か月前比マイナス →：上記以外
雇 用		愛知労働局「最近の雇用情勢」／有効求人倍率	↑：有効求人倍率1超かつ対3か月前比プラスの場合又は有効求人倍率対前月0.1ポイント以上プラスで、かつ対3か月前比0.2ポイント以上プラスの場合 ↓：有効求人倍率1未満かつ対3か月前比マイナスの場合又は有効求人倍率対前月0.1ポイント以上マイナスで、かつ対3か月前比0.2ポイント以上マイナスの場合 →：上記以外
企 業	倒 産	㈱東京商工リサーチ名古屋支社「東海三県下企業倒産動向」	↑：月間倒産件数の対前年同月比マイナスかつ同比の対3か月前比マイナス ↓：月間倒産件数の対前年同月比5%以上かつ同比の対3か月前比プラス →：上記以外
	金 融	日本銀行名古屋支店「都道府県別預金、現金、貸出金（国内銀行）」／貸出残高	↑：対前年同月比1%以上プラスかつ同比の対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ同比の対3か月前比マイナス →：上記以外
貿 易	輸 出	名古屋税関「管内貿易概況」／名目輸出額	↑：対前年同月比5%以上プラスかつ同比の対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ同比の対3か月前比マイナス →：上記以外
	輸 入	同 上／名目輸入額	同 上
物 価	企 業 物 価	日本銀行「企業物価指数」／国内企業物価	↑：対前年同月比1%以上プラスかつ対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ対3か月前比マイナス →：上記以外
	消 費 者 物 価	総務省統計局「消費者物価指数」／名古屋市（総合）	同 上
区 分		上 昇 	横 ば い  下 降 

（注）1. 矢印は、対前年比、3か月前比を中心に変化の方向を表す。

2. 「倒産」については、倒産件数が上昇の場合は“↘”を、下降の場合は“↗”を表示する。